



142号
H28.12.10 発行

西江原
公民館だより

2016 西江原ふれあい広場



「二〇一六西江原ふれあい広場」を、十一月二十七日に西江原小学校を会場に開催しました。今回は、西江原公民館建屋竣工の十周年を記念しての開催となりましたが、当日は、前夜から降り出した雨が閉会するまで降り続けるという大変残念な天候となりました。

しかし、天気予報で雨の予想が出ていたこともあり、前日の準備時に、田中自治連合協議会長のご奉仕により急遽ステージに屋根を付けていただいたおかげで、十周年を記念した井原早雲太鼓の雄壮で迫力のあるオープニング演奏をはじめ、本来なら中止になってしまうステージ発表も、一部を除きほとんどのプログラムを行うことができました。

天候の影響で、来場者が例年に比べて少し少なく、特に午後は展示会場やテント村も寂しかったように思いました。しかし、ある意味思い出に残る広場になったかもしれない。

最後にご協力いただいた皆様には、心から感謝し、お礼を申し上げます。

(文化部長 相田瑞明)



八月六日(土) 第四十二回井原夏まつりが開催され、西江原公民館踊り連は、今回が二十四回目の参加となりました。今回は、毎回行っている事前練習のやり方を、より練習しやすくなるよう変えたり、本番での踊り連の踊り子の並び方を

工夫したりしました。また西江原みんよう愛好会の皆様が、道祖踊りの素敵な衣装で先導して華を添えて下さったことや踊り子・サポーターとして参加していただいた皆様の頑張りのおかげで、優秀賞を頂くことができました。有難うございました。今後もこうした諸行事に町民皆様のご協力をよろしくお願いたします。

(文化部長 相田瑞明)

第五十四回井原市民体育祭が、井原運動公園陸上競技場で十月二日に開催されました。大会一週間前に立戸公園で結団式を行い、選手、役員共に本番に向けて練習を開始致しましたが、今年は雨の影響で思うように練習ができませんままに大会を迎えました。前日、若干の雨はあったものの、大会当日は、スポーツ日和となり、本年もAブロックで昨年惜敗の四位から優勝を目指して選手、役員一同競技にのぞみました。前半を終了して、優勝争いのできる位置をキープして後半へ。しかしAブロックで勝つ難



点を挙げてくる地区などもあり、最終順位は第三位と二点差という接戦で第五位入賞となりました。しかし、この大会では、例年苦戦をしていた玉入れ競技で大きな成果をあげることができました。昨年から文化教室の同好会としてスタートしたチームが、Aブロック第二位の成績を収めることができたことです。最後に、出場していただいた選手のみなさん、大変お疲れさまでした。また、選手選考、諸準備などご協力をいただきました関係者のみなさま、大変ありがとうございます。惜しくも優勝は逃がしましたが、更なる上位進出、さらには再び優勝旗を西江原へ持ち帰るべく来年度も全員で戦いましょう。

(体・レク部長 金島孝和)

西江原町親睦ペタンク大会



十月二十三日(日)立戸公園グラウンドにおいて、「平成二十八年度西江原町親睦ペタンク大会」を開催しました。今年度は、広く市内全体に参加を呼びかけ、町内外の方、またジュニアと家族の参加もあり終始、笑いと拍手の響く大会と

なりました。「ペタンクの町、西江原」を目指し、来年も開催を予定しています。皆様ペタンクを一緒に楽しみましょう。最後に、大会を準備していただいた皆様に感謝を申し上げます。

(西江原ペタンククラブ 西岡 繁)

リサイクル工場見学



十月十三日、西江原地区社協サロン葵の総勢二十三名が福山市箕沖町のエフピコトレイリサイクル工場見学と、笠岡ベイファームを見学してきました。工場では、分別回収された容器やトレイがエコトレイに生まれ変わるにはいろいろな工程があり、中でも特に再生出来ない物を取り除き、白いトレイとカラートレイの選別は、必ず手作業が必要で、最も時間と手間がかかる工程だそうです。

その後、コスモス畑の散策、道の駅でのお買い物など自由行動を楽しみました。帰りのバスに向かわれる皆さんの手にはお土産の袋、とてもいい笑顔されていました。サロン葵では、七十才以上の一人暮らしの方、七十才以上の二人暮らしの方の参加をお待ちしています。ぜひお越し下さい。

(西江原地区社会福祉協議会 岡野まゆみ)

資源ごみとして出すときには、きれいに洗い、正しく分別しなければと改めて痛感しました。

リサイクル工場見学の後に向かったのは、笠岡ベイファームです。昼食のお弁当は、外のベンチでおしゃべりしながら、とても楽しく頂きました。

西江原町納涼盆踊り大会

今年で第三十九回を迎える恒例の納涼盆踊り大会を八月十三日に立戸公園で開催しました。

各地区から公民館、子供会を始め文化教室のみなさん、総勢四百名近くの踊り連のご参加をいただき、賑わいのある大会となりました。また今年は、開会式前にオープニングとして西江原みんよう愛好会のみなさんに伝統の道祖踊りを、新



調された衣装で披露していただき、大会に華を添えていただきました。午後七時の開会后、毎年お世話になる地踊り保存会による音頭で踊りが始まりました。そろいの法被に袖を通した踊り連

ではないでしょうか。最後に、踊り連の準備や出店にご協力いただきましたみなさん、大会準備から終了後の片付けまでご協力いただきました大会役員、関係のみなさま、大変ありがとうございました。(体・レク部長 金島孝和)

敬老会

今年の敬老会対象者は、八百二十一名で最高齢者は百歳の女性、そして米寿対象者が二十五名でした。コスモスの花が咲き始めた秋晴れの九月十一日、いばらサンサン交流館に百二十三名の敬老者の皆様をお迎えして、西江原町敬老会を盛大に開催



ご来賓には、滝本市長をはじめ一億総活躍担当大臣、加藤勝信様等のご臨席を賜り、温かい励ましのおことばを頂戴いたしました。地域の皆様のご協力により緊張感の漂う中、

厳粛に開会行事を終え、その後、お食事をしながら演芸をお楽しみいただきました。演芸の前半は、文化部太極拳の皆様により、「三十二式太極剣と入門―初級を扇で」と題してゆったりとした静かな時間を過ごしていただきました。食事が終わって後半は、三村社会福祉協議会長、田中自治連合会長など、女性の有志による演芸、「2016西江原オリンピック全員集合」が始まりました。懐かしい歌「世界の国からこんにちは」等を、敬老者の皆様に口ずさんでいただき、その歌に合わせて、舞台の選手は、趣向を凝らした衣装を身に着け、会場の皆様共々演技を楽しみました。また、特別出演のでんちゅう君がステージに華を添えてくれました。最後は、少子化問題を問いかけながら、全員で「こんにちは赤ちゃん」を歌い、ウエディング姿の宗高館長が授かった赤ちゃんをステージの皆さんに手渡しして爆笑のうちに幕を閉じました。

教育講演会



「ショッキングな話ですが、近隣でも中学生や高校生の子供が妊娠して中絶したり、出産したりしている。」そんな話を聞きました。

三日に、西江原公民館・小学校共催による「教育講演会」を開催しました。「命の大切さ」のタイトルで、

岡山 三宅医院の助産師 山村ひろ子氏を講師にお招きし、お話を伺いました。勤務している病院の近くに少年鑑別所があり、依頼を受けて、入所している少女の指導をしております。前述の話は、そこで実際にある話だそうなんです。何らかの犯罪をして鑑別所に入所している子どもたちは、生育歴等それぞれの事情をもっています。家庭での生活環境は、子どもたちの生育に、大きく影響します。愛情を感じることが少ないと、利己的な愛を求めてしまいがちで、妊娠等の問題も出てくる可能性があります。

虐待やネグレクトは論外としても、過保護や放任により、子どもたちが自分に自信をもてなくなってしまう、暴力等の反社会的な行動をとるようになったり、引きこもりやリストカット等の非社会的な行動をとるようになったりしがちです。「命がいかに大切であるか。」「自分が親にとって、どんなにかけがえない存在であるか。」を、しっかりと感じさせることが大切であること、を教えていただく、とても充実した研修になりました。



今年も、笑顔溢れる敬老者の皆様にお会いできてとても嬉しく思いました。どうぞ、いつまでも、お健やかに過ごしてください。ありがとうございます。 (女性会長 猪原俣江)

(教養部長 田中孝治)

まちづくり報告

西江原地区まちづくり協議会

西江原地区まちづくり協議会では、少子高齢、人口減少社会の進展する中で、町民の皆さんが、西江原をふるさととして愛し、協力・協働して活力のあるまちとなるような取り組みを模索しながら、本年度も少しずつ前進しています。

特に、「井原市がらんぼる地域応援補助金」を活用しての事業は、昨年に引き続き①「高齢者元氣アップ事業・甲山はつらつ学園」、②「雄神川流域の自然と環境を護る事業」、③「神戸川を活かしたもに生きる事業」、④「ふるさとのレシピを探し活かす事業」の四事業に計百万円の補助金の交付を受け、それぞれの担当部署で事業を展開しています。

①では、三十七名のメンバーが、ガーデンングや陶芸講座などの実践講座、グラウンドゴルフの健康づくり講座などで元氣づくりをすることにも、これからも小学校児童との昔遊び交流や先進地との交流やイベントの実施など、メンバーの自主的、積極的な活動をとおしてまちづくりに波及できたという活動を展開しています。

②、③では、河川の清掃や花づくり、ホテルの保護活動、写真コンテストなどを実施しながらそれぞれの

地域の人々の交流と活性化、環境美化に取り組んでいます。

その中でも、④の事業では、「レシピ」を食べ物だけでなく、文化・歴史等の素材も含めて「西江原のレシピ」と捉え、それらを探し活かそうという事業で、今回は特に、その取り組みの二つについて紹介してみたいと思います。

「にいえばら長まきずし大会」

の開催

八月二十五日、公民館集會室で開催



西江原のレシピを探すアンケート調査で、昔からどの家庭でも祭りに「すし」が作られていたことから、「巻きずし」を取り上げ、遊び心も加えて「長まきずし」に挑戦することとした。子どもたちもすし飯や芯

となる食材作りを手伝い、声と息を合わせて十メートルの「長巻きずし」を二本完成させてみんなで食べ、祭りの気分を味わいながら楽しく交流を深めた。こども大人九十人参加。



「西江原町ガイドマップ」の作成

前年度から取組んできた西江原の歴史、史跡を中心に著した地図の作成。今年度修正、増し刷りを加えて完成させ、十一月二十七日の「西江原ふれあい広場」で発表した。(写真)忘れ去られようとしている史跡や近くにある事物のいわれなどを次代に伝えるとともに、散策の友にしてもらえればというもの。西江原町各戸に配布するとともにガイドもできるボランティアの養成にも取組む。これからも多くの皆さんのご理解



やご参加、ご意見などをいただきながら西江原の郷土づくりに取り組むたいと思います。

西江原公民館

〒715-0006
井原市西江原町1414
☎ 0866-62-8129

メール
nishi-km@ibara.ne.jp

ホームページ
http://www.ibara.ne.jp/~
nishi-km/